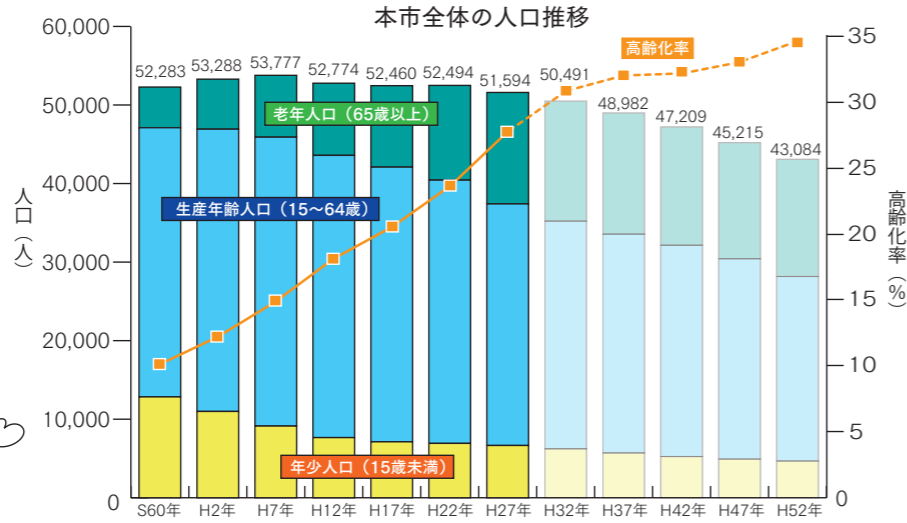


1. 少子高齢化の急速な進行および人口減少によるニーズの変化

本市の人口は、今後減少傾向となり、平成52年（2040年）の人口は43,084人まで減少することが見込まれ、それと同時に少子高齢化が進行します。

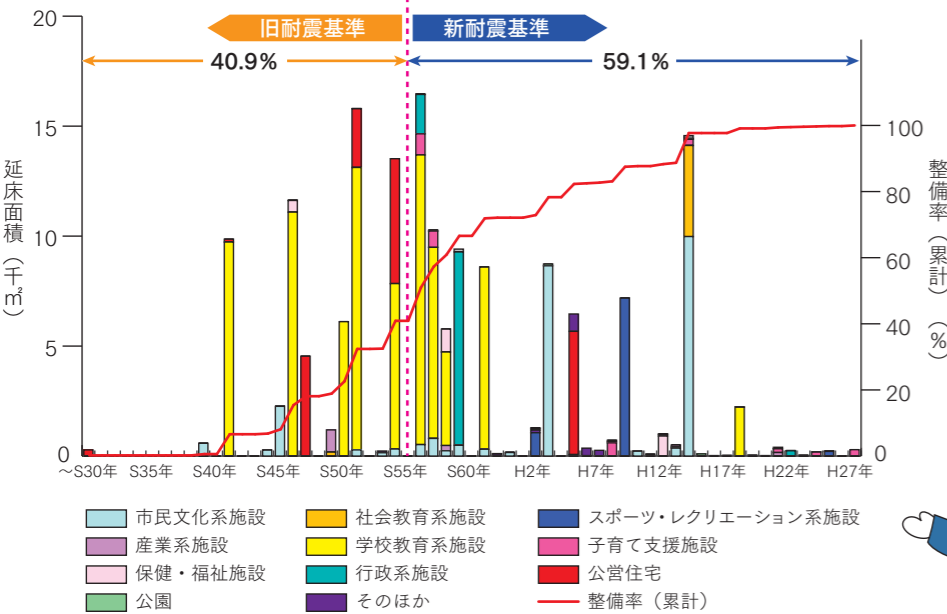
こうした世代構成の変化により、公共施設へのニーズが変化することが予想されます。施設規模の見直し、既存公共施設の多目的での活用も視野に入れ、公共施設への市民ニーズに対応する必要があります。

働き盛りの人たちが減ることで、税収も減ってくる。...



2. 公共施設の老朽化

建築年度別延床面積の推移



本市の公共施設の中で旧耐震基準が適用されていた時期である、昭和55年度以前に整備された施設は40.9%にのぼり、安心・安全の観点から課題がある公共施設や老朽化が深刻な公共施設が多いことがわかります。

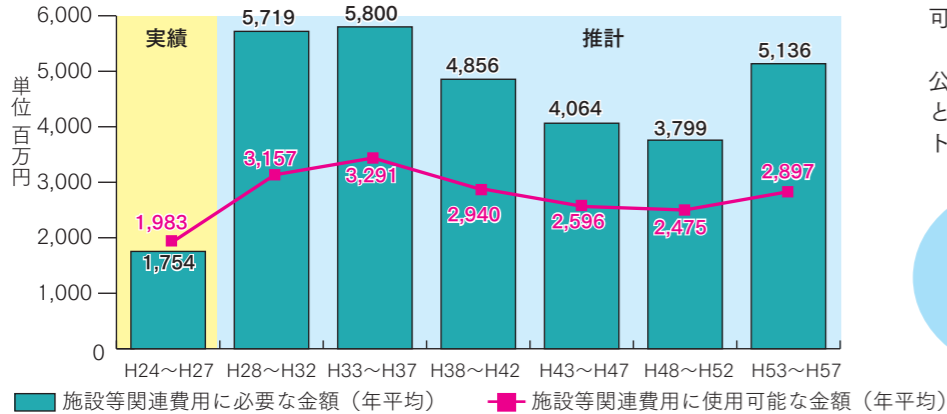
昭和55年度以前に整備された施設を大分類別に延床面積で見ると、学校教育系施設や公営住宅が多くを占めます。こうした老朽化施設については、今後の人口動向、世代構成の変化を考慮し、その必要性を精査したうえで、今後の在り方を検討していく必要があります。

今後、建替えや大規模改修などの検討が必要な施設が集中する。...



3. 公共施設等の更新需要の増大と財源の限界

公共施設投資の必要額と使用可能な金額の比較



公共施設関連経費に着目し推計した結果、今後30年間における公共施設等の維持更新に必要な金額は1,468億円で、一方、使用可能な金額は867億円で推計されています。本市では、これらの問題を解消するため、公共施設の在り方について、市民の皆さんと一緒に考えながら「公共施設マネジメント」に取り組んでいきます。

今後30年間で、公共施設投資に必要なお金に約601億円の不足が生じる見込み。...



結城市の公共施設

次世代に負担を増やさないために

現在、我が国では、公共施設等の老朽化対策が大きな課題となっています。本市では、昭和40年代後半から昭和50年代後半にかけて整備された公共施設が多く、これらの施設は今後老朽化が進むこととなり、建替えや大規模改修などに多額の費用が必要となります。さらに、少子高齢化の急速な進行による人口構造の変化、それにとりまう社会保障費の増加や近年多発する自然災害への対応など、市の財政運営は一層厳しくなることが予想されます。

全ての公共施設等の更新は不可能。市が保有する施設等を全て建替えたり、大規模改修をした場合の費用を試算したところ、今後30年間で約1,468億円となり、一方、維持更新に使用可能な金額は約867億円で、約601億円の不足が生じる見込みです。

1億円が不足すると推計されています。未来のために一緒に考えましょう。結城市の公共施設のこと。このように厳しい状況を踏まえ、本市では最適な公共施設サービスと財政運営を両立させながら、公共施設を総合的かつ統一的に企画・管理・活用する仕組みである「公共施設マネジメント」に取り組んでいます。

また、公共施設等の長寿命化を含めた保全管理、既存施設の活用など将来を見据えた本市の公共施設等の在り方について、長期的な視点で個別施設ごとに方針や計画を策定し、適正管理や有効活用を努めます。

未来を担う子どもたちへの負担をこれ以上増やさず、適切な行政サービスを提供し続けるために、市民と行政の力を結集し、公共施設の更新問題を一緒に考えていきましょう。



CONTENTS

- 2 結城市の公共施設
- 4 「川は私たちの財産」大切な川を守りましょう！
- 6 結城市・小山市情報交換会を開催
- 6 国民健康保険税についてのお知らせ
- 7 後期高齢者医療制度のしくみ
- 8 市民のページ
- 10 ゴミレシジャー
- 10 まゆげったニュース
- 11 ひとの人権わたしの人権
- 11 男女共同参画社会
- 12 国保Q&A
- 12 けん口広場2018
- 12 葉
- 13 元生きたどり
- 13 市民健康教室
- 14 ゆうき図書館からのお知らせ
- 14 食育レシピ
- 15 結城市職員採用試験について

表紙の写真
6月3日(日)、上山川の才光寺グラウンドにおいて、平成30年度結城市水防訓練が行われました。詳しくは、市民のページ記事をご覧ください。

2019 いきいき茨城ゆめ国体
バレーボール少年女子
結城市開催まで
7月1日
あと458日

